

船舶事故等調査報告書

平成26年12月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014長第76号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年8月14日（木） 13時50分ごろ
発生場所	熊本県上天草市永浦島 ^{ながうら} 北方沖 上天草市所在の天草大矢野橋橋梁灯（C1灯）から真方位309° 680m付近 （概位 北緯32°32.9′ 東経130°25.0′）
事故等調査の経過	平成26年8月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	モーターボート 清伸丸 ^{せいしん} 、5トン未満（長さ8.55m）
船舶番号、船舶所有者等	293-32900熊本、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	船底に剝離及び擦過傷、プロペラ軸に曲損、プロペラ翼に曲損及び欠損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、永浦島北方沖において錨泊した後、機関を使用しようとしたところ、陸岸が近かったため、ポートフックで突いて移動し、後進をかけたが、船体後部が浅所に接触し、前進をかけたものの、平成26年8月14日13時50分ごろ浅所に乗り揚げた。 本船は、上げ潮を待って離礁し、自力で航行して上天草市大矢野町のマリーナに帰った。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約5～6m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
その他の事項	本船の喫水は、船首尾とも約0.7mであった。 船長は、本事故当時、水深が表示されるGPSプロッター及び魚群探知機を休止させていた。 船長は、本事故発生場所付近の地理に不慣れで、水深を把握していなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象等の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、永浦島北方沖において、船長が水深の浅い場所に錨泊し、水深を把握せずに発進したことから、浅所に乗り揚げたものと考えら

	れる。
原因	本事故は、本船が、永浦島北方沖において、船長が水深の浅い場所に錨泊し、水深を把握せずに発進したため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 錨泊する際は、水深を確認し、浅所を避けて行うこと。・ 浅水域を発進する際は、付近の水深を確認すること。